(学年)2年、(教科・科目)総合的な探究の時間・探究の広場1

一斉学習

(単元) 情報の収集と活用の仕方(情報活用探究)

(本時のねらい)

本単元は、「情報収集探究」と「情報活用探究」に分かれており、「情報収集探究」では、探究活動に必要な情報を収集する方法について学習している。本時は「情報活用探究」として、収集した情報を読み取り整理する方法を学ぶために、表計算ソフトを使用し数値データのグラフ化を行い、データの傾向や特徴を読み取る活動を行う。収集した情報を読み取り、整理する手法について理解するとともに、それらを探究活動に生かすことで、自分の主張をより深められるようにすることをねらいとしている。

(ICT 活用方法)

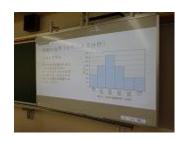
学習内容の説明は電子黒板を使用して行う。演習で扱う表計算ソフトのファイルを、コラボレーションプラットフォームのチャット機能を使用して生徒の一人一台端末へ送付する。一人一台端末を用いて、生徒各々で演習に取り組む。生徒は、演習後のファイルを、コラボレーションプラットフォームを使用して教員へ提出する。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT 活用方法
導入	・本時の目標を確認する。	・本時の学習内容を把握	
3分		させる。	
展開	・電子黒板に示されたスライ		
42分	ドを見て説明を聞く。		
	・数値データをグラフに表	処理の目的やデータの	・電子黒板を用いて
	現して視覚化すること	特徴に合わせて、使用	説明する。
	で、データの傾向や特性	するグラフを適切に	
	が見つけやすくなること	選択することが必要	
	を知る。	であることを伝える。	
	・一人一台端末を使用して演	あらかじめ表の形でま	・コラボレーション
	習を行う。	とめたデータを準備	プラットフォーム
	・表計算ソフトでデータを	しておく。	を使用して、演習
	分析する。	・手順書を用意してお	に必要なファイル
	① 部活動ごとの人数を集計	き、生徒が表計算ソフ	を生徒に送付して
	する。	トの操作に迷わない	おく。
	② 帰宅時間、充実度をグラフ	ようにする。	・電子黒板でも操作
	であらわす。	どのグラフを使うとデ	方法を丁寧に説明
	③ 充実度を分析する。	ータの特徴が把握し	する。

	④ 自由に分析をしてみる。	やすいか考えさせる。	
	・分析した結果を教員へ提出する。		・コラボレーション プラットフォーム を使用して、教員 ヘファイルを提出 する。
まとめ 5分	・本時の学習内容を振り返る。 ・出席確認をする。	・リポートの問題を確 認させる。	

(授業の様子)



電子黒板①



電子黒板②

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

グラフの種類や特徴を事前に説明してから演習を行うことで、生徒がデータの傾向を考え、どのグラフを用いて表現すべきかを試行錯誤しながら積極的に取り組む様子が見られた。課題は、ICT スキルの差である。本校進学時までの学習経験の違いから、パソコン操作の習熟度に大きな差がある。一人一台端末を使う際は、操作が苦手な生徒に対して丁寧な指導を要する。スムーズに授業で一人一台端末を活用できるようにするために、生徒が一人一台端末を利用する機会を多く用意していく必要がある。